

12月議会に期待

地政工事ト治クリエイ

伊藤秀昭

12月議会が始ま
り、5日からは、各
議会で一般質問が始
まります。来年度の
予算編成に向け大切
な時であり、各議会
での議論が注目され
ます。

豐橋市

東三河の中で最も注目されるのが豊橋市議会。11月の市長選で三選を果たした佐原市長が、同28日に所信を表明し、その代表質問が5日に行われます。

人口規模に見合ったコンパクトなまちづくりも、短期間では進みません。まちづくりへの執念と着実な戦略の展開が要請されます。

■ 豊川市 人口18万人の川市。東に「本宮湯」、西に三河港、速道路のインターチェンジは2カ所。東海道線に飯田線名鉄線。中央には歴史あるものづくり産業群。

「ですか」と聞いた
ら、山脇市長は「みん
な歩調を合わせて
いたら、いつになる
か分かりません」と
キッパリ。その先手
の取り組み意欲が、
豊川市を元気にして
います。

喚田議長は言います。「今年2月に策定された、『ラグーナ地区におけるヘルスケア基本計画』に示されているように、地域資源と先端技術の融合を図りながら、次世代型のヘルスケアシステムを目指していく中で、新たな産業の集積を目指し

に市民の期待は
きい。
■新城市
16年第11回マニ
エスト大賞の「最
秀シチズンシップア
進賞」に新城市若
議会が選ばれま
た。

そこで得たもので、そこを走った新城市パワーにして、市議会の課題にどうか戦していくか。これは議会がどうか合っていくか、市議会に議論してみたい。

が、半減させる「学校全体配置計画」を見直す方針を明らかにしました。

地域の活力である学校を失うことに、住民の不安が拭えないとしていますが、少子化社会の中での子どもたちの教育の在り方に議会がどんな議論を開くべきか注目したい。

地方創生へ、議会も総力を！

「イノベーションは偶然には起きない」とは過日、豊橋で講演した牧野光朗飯田市長の言葉です。この問題提起は佐原市長にも、豊橋市議会にも向けられます。

育てするなら豊川市」と子育てで突出しています。

■蒲郡市
したい。
蒲郡の特徴は
「海」。三河湾の夕日
に照らされたヨット
ハーバーや海岸線を
望むと、これが同じ
東三河かと胸が高ま
ります。

新たな価値が付され、地域経済の活性化やヘルスケア分野の技術革新、また雇用の創出などなされていくはずと。

うか。
最近、まちづ
き集会で新城市を
た人から「新城
員は鍛え方が違
黒子に徹しなが
市民を次のステ
に導いている」
いて、「なるほど」

す田原市。一方、国勢調査の結果では、この5年間で人口が1700人減少し、その歯止めがなされるのかどうか、大きな課題になっています。こうした中で、田

体では、本格的な不
オボラおばさんの養
成に取り掛かっています。
秘めたコンパク
なまち、そのもの
はないかと気が
きります。そして「

子つでト
を踏まえ、どのよう
にまちづくりの次の
段階を目指すのか、
議会での議論を朝寺

ていくことは大変
重要なまちづくりの
方向性であり、こ
こ蒲郡のまち

がかみ合いだし
「新城がパワーを
持っている」とい
うのは私だけであ

国・世界から選ばれるサーフスポーツとし、常に賑わいあふれるまちを目指す。